

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
TEL: 03-3259-3111(代表)
www.ms-ins.com

2023年10月5日

～アルコール検知器使用の義務化に伴う、アルコールチェック管理体制の構築を支援～
『Fードラ』の新サービス「アルチェキプラン」の提供開始

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）は、フリート契約向けドライブレコーダー・テレマティクスサービス『Fードラ』に、新たな有償オプションである「アルチェキプラン」を追加し、12月から提供開始します。

本プランは、専用アプリを通して、市販のアルコール検知器の検知結果を読み込み、『Fードラ』専用ドライブレコーダーで取得した走行データとともに日報に自動で連携します。株式会社AIoTクラウド（代表取締役社長：松本 融）のアルコールチェック管理サービス『スリーゼロ^{※1}』を活用し、両社で共同開発しました。

当社とAIoTクラウドは、本プランの提供を通じて、企業のアルコールチェック管理体制の構築を支援していくとともに、飲酒運転の撲滅・事故のない快適なモビリティ社会の実現に貢献していきます。

※1：アルコールチェック管理サービス『スリーゼロ』 <https://alc.aiotcloud.co.jp/>

1. 「アルチェキプラン」の概要

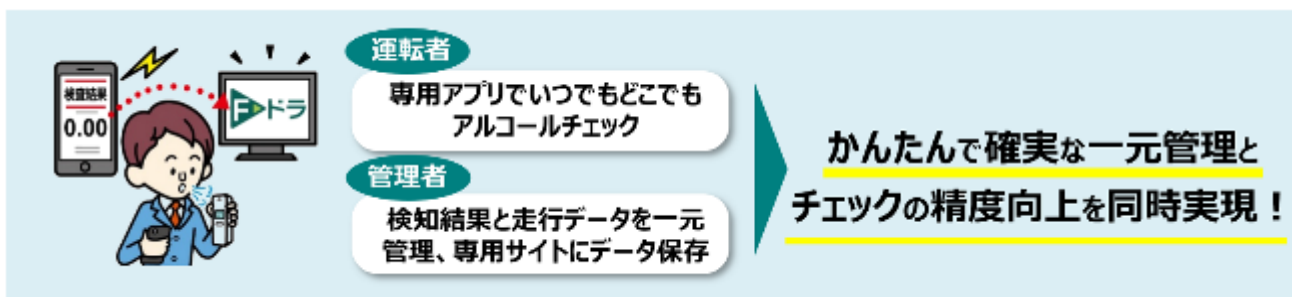
（1）利用条件

- ①利用開始月：2023年12月
- ②利用対象：『Fードラ』の契約者（「アルチェキプラン」単独でのご加入は出来ません。）
- ③利用料：アプリ利用者数1人につき、月額450円（税別）

（2）特長

- ①専用アプリを通して、市販のアルコール検知器^{※2}の検知結果を読み込み、『Fードラ』の走行データとともに日報に自動で連携します。
- ②企業管理者はアルコール検知結果と走行データの一括管理が可能となります。また、検知時の顔画像も連携されるため、アルコールチェックの精度向上につながります。

※2：61社・108機種が対象（2023年8月末現在） <https://alc.aiotcloud.co.jp/breathalyzers>



2. 開発の背景

2023年12月1日より改正道路交通法が施行され、白ナンバー事業者のアルコール検知器によるアルコールチェックの義務化が開始されます。義務化に伴い、企業管理者は運転者によるアルコール検知器を使用したアルコールチェックの確実な遂行および正確な管理が求められます。

そこで、当社は運転者・管理者双方の負担を軽減し、アルコールチェック結果を簡単に報告・管理できる体制構築を支援するため、「アルチェキプラン」を開発しました。

<ご参考>

■『Fードラ』の主な機能

『Fードラ』は専用ドライブレコーダーで、企業・従業員の「事故・緊急時」「事故防止取組」「運行管理」の3つをサポートする三井住友海上のフリート契約者向け有償サービスです。

*基本プランの1か月あたりのサービス料

スタンダードプラン：1,500円（税別）／1台、シンプルプラン：1,300円（税別）／1台



専用ドライブレコーダー
で安全運転の取組を
サポート

<p>事故・緊急時</p> <p>衝撃検知</p>  <p>専用ドライブレコーダーが、事故等、一定以上の衝撃を検知すると、専用安否確認デスクに自動通報。</p>	<p>事故防止取組</p> <p>運転力診断・分析</p>  <p>専用ドライブレコーダーが、危険運転挙動を検知し、アラートでお知らせ。運転傾向や危険運転動画も確認可能。</p>	<p>運行管理</p> <p>走行ルート</p>  <p>専用ドライブレコーダーにより、走行ルート、現在地、最高速度、運転時間、運転間隔等が確認可能。</p>
--	--	---

■株式会社 AIoT クラウドの概要

会社名	株式会社 AIoT クラウド
設立	2019年8月
本社所在地	東京都江東区豊洲5丁目6-15 NBF豊洲ガーデンフロント
代表者	代表取締役社長 松本 融
主な業務	クラウドサービス・ソリューションの開発・運用

以上